

令和4年度 第2回 江別市男女共同参画審議会 議事録

日 時：令和5年2月17日（金）18時00分～18時55分

場 所：江別市民会館 31号室

出席委員：10名

小内純子（会長）、黒澤直子、浦嶋昭三、工藤憲一郎、田中幸恵、早瀬美知子、五十嵐友紀子、大西順子、久保康弘、藤王ゆかり

欠席委員：2名

塩山慎一、三浦康之

事務局：5名

生活環境部 金子部長、齊藤次長

市民生活課 大橋参事（市民協働担当）、田中主査（市民協働担当）、佐藤主事

傍聴者：なし

次 第：1 開会

2 議事

(1) 江別市男女共同参画基本計画の策定について

(2) 江別市男女共同参画基本計画の策定スケジュールについて

(3) 江別市男女共同参画アンケートの設問（案）について

3 その他

4 閉会

小内会長	これより第2回江別市男女共同参画審議会を開会します。 まず、議事に入る前に、前回保留となっていた件について、一つめに大西委員から質問のあった「江別市の男性の非正規雇用者の率」について、二つめに私から質問しました「女性のがん検診の受診率について、全国では上昇しているのに対し、江別市では下がっているのはなぜか」という件について、事務局から説明がありますので、お願いします。
事務局 (大橋参事)	まず、大西委員から質問のありました江別市の男性の非正規雇用者の率につきまして、令和2年の国勢調査の結果では、江別市の働く男性のうち非正規雇用者の割合は23.4%であり、全国平均より約5ポイント高い数値となっています。 前回の平成27年調査と比較すると、江別市では女性が約2.2ポイント低下したのに対し、男性は約1.3ポイント増えたという結果となっています。

	<p>つづいて、小内会長から質問のありました女性のがん検診の受診率について、全国では上昇しているのに対し、江別市では下がっているのはなぜかという件につきまして、全国平均の数値が公表されている令和元年度までの推移を見ても、全国では上昇していますが、江別市は、子宮頸がん検診、乳がん検診ともに減少傾向にあります。</p> <p>その原因について、保健センターの担当者に確認をしましたが、江別市では、子宮頸がんや乳がんだけでなく、肺がんや大腸がんなど他の検診の受診率も低下していることは把握しており、はっきりとした原因は分かっていないとのことですが、受診率の向上を図るため、受診を勧奨するPR活動をはじめ、集団検診の利用枠の拡大や、日曜日でも乳がん検診を受けられるマンモグラフィーサンデーの実施などの取り組みに努めているところです。以上です。</p>
小内会長	<p>ただいま、事務局より説明がありましたが、ご意見やご質問などはございませんか。</p> <p>(なし)</p>
小内会長	<p>それでは、次第2「議事」に入りますが、(1)と(2)はそれぞれ関連事項ですので、(1)江別市男女共同参画基本計画の策定について、(2)江別市男女共同参画基本計画の策定スケジュールについて、2つ続けて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (田中主査)	<p>まず、次期基本計画の策定について、概要をご説明します。事前に送付しました資料1をご覧ください。</p> <p>最初に、1. 計画策定の趣旨について、江別市男女共同参画基本計画は、国の男女共同参画社会基本法と江別市男女共同参画を推進するための条例に基づき、江別市における男女共同参画社会の実現に向けて策定した計画であり、現在の計画が令和5年度末で終了することから、令和6年度からの施行に向けて、新たな基本計画を策定するものです。なお、策定の根拠となる法律および市の条例については、枠で囲った部分をご参照ください。</p> <p>次に、2. 現計画の概要について、現計画は、条例の7つの理念に基づき、長期的な展望に立った7つの基本方針と、市が主体的かつ重点的に取り組む2つの重点項目で構成されており、男女の平等感と男女共同参画の意識を数値目標としています。</p> <p>この計画は、第6次総合計画の個別計画と位置付けており、さらに、令和元年度からは、基本方針1から4を、国の女性活躍推進法に基づく女性活躍推進計画と位置付けています。</p> <p>次に、3. 新計画の考え方については、現計画を継承して基本方針と重点項目で構成し、現計画を検証する中で、今後も取り組むべきもの、または見直すべきものを整理し、持続可能な開発目標、いわゆるSDGsの視点を踏まえた取り組みを進めていきます。続いて裏面をご覧ください。</p> <p>4. 計画期間につきましては、令和6年度から15年度までの10年間となります。</p> <p>次に、5. 策定に当たっての検討内容については、国の動向や社会情勢の変化を踏まえ、基本方針・重点項目・数値目標などを検討していく予定です。</p> <p>次の6. 今後のスケジュールにつきましては、資料2で説明させていただきます。</p>

<p>小内会長</p>	<p>計画策定のスケジュールにつきましては、記載のとおり予定をしています。計画の策定までに、市民の皆さまからご意見をいただく機会としまして、まず、中央の列に記載しているとおり、5月に市民を対象としたアンケートの実施、12月に意見公募、いわゆるパブリックコメントの実施を予定しています。</p> <p>また、審議会については適時開催することとしますが、予定としましては、右の列のとおり5月下旬に第1回目を開催し、その後、委員の改選を経て、来年2月までに合計6回の開催を想定しており、最終的な計画策定は来年3月としています。</p> <p>説明は、以上です。</p> <p>ただいま、事務局より説明がありましたが、ご意見やご質問などはございませんか。</p> <p>(なし)</p>
<p>小内会長</p>	<p>つづいて、議事の(3)江別市男女共同参画アンケートの設問(案)について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (田中主査)</p>	<p>事前に送付しました資料3をご覧ください。</p> <p>先ほどのスケジュールの中でもご説明しましたとおり、次期基本計画の策定にあたり、江別市における市民の意識や傾向の把握、課題の抽出等を目的として、アンケート調査の実施を予定しています。</p> <p>調査対象は、年代及び性別の割合に応じて無作為に抽出した市民1,500人とし、調査結果については、計画の原案作成や、本審議会における審議の参考とするほか、市のホームページなどで市民へ公表し、市民の意識醸成に活用していきたいと考えています。</p> <p>資料には、現時点で市が想定しているアンケートの設問について記載しており、この他に、年代や性別といった回答者本人に関する事項についての設問を設ける予定です。</p> <p>資料の構成としまして、1～2ページは、設問案の一覧となっています。次の3ページは、回答方法の種類についてサンプルを掲載しています。そして、4～9ページが、具体的な設問案の内容となっています。</p> <p>この設問の内容をご確認いただき、ご不明な点、不足している点などについて、ご意見をいただきたいと思います。</p> <p>また、資料では、枝分かれの設問を含めると全部で33問ありますが、設問数が多いと回収率が低くなるという傾向もあることから、設問数を20～25問程度に絞ることも検討していますので、アンケートの趣旨を踏まえ、この設問は必要ないといったご指摘もいただければと思います。説明は、以上です。</p>
<p>小内会長</p>	<p>ありがとうございます。ここで色々と意見を出していただき、それをアンケートに反映するかどうか検討してもらおうということになりますので、ご自由にお気付きの点など発言していただければと思います。</p>

五十嵐委員	<p>意見と質問ですが、9ページの問24②「1つでも1～3を選んだ方、そのことを誰か（どこか）に相談しましたか」という設問で、「3 公的機関に相談した」という選択肢がありますが、今は公的機関でも相談できる所が色々あるので、具体的にどこに相談したかというところまで記入できるようになるといいなと思いました。</p> <p>また、実際にこれらの機関に相談した方が、解決したかどうかということを設定として加えると良いと思いました。</p> <p>次に質問ですが、問26の上、「男女共同参画の推進を目指す取組について」の下に、「男性と女性が互いにその人権を尊重し」という文章がありますが、これが何を指しての説明なのかが分からないので教えていただきたいです。</p> <p>次に、問23「配偶者や恋人の間で次のようなことが行われた場合、暴力だと思いますか」と問24「次のようなことを経験したことがありますか」という設問で、どちらも同じ選択肢が並んでいますが、下から3番目の『誰のおかげで生活できているんだ』『かいしょうなし』など、相手が傷つくことを言う」という部分が少し引っ掛かって、具体的な言葉を出さなくてもいいのではないかと思います。</p> <p>実際にDVに遭われた方だと、トラウマやナイーブなどところがあると思うので、具体的な言葉を明示しないで、たとえば「相手を侮辱したり人格を否定するような言葉を投げかける」というような文章でもいいのではないかと思います。</p>
事務局 (大橋参事)	<p>問26の上の説明文については、主語が抜けておまして、「男女共同参画とは、男性と女性が互いに」となります。削除してしまっていたようで、申し訳ございません。その他の点につきましては、ご意見をいただきありがとうございます。</p>
小内会長	<p>問24②で、公的機関について具体的に書くというのは良いと思いますが、同様に民間の機関についてもサブクエスチョンで具体的に聞けたらいいのではないかと。ここに弁護士会が出てきているので、それに引っ張られてしまうかもしれませんが、様々な機関がありますので、それが分かればいいかなと思いました。</p>
久保委員	<p>4ページ「男女の平等感について」のところで、自分なりに考えてみて、問2の職場の選択肢に、こういったものを追加してはどうかと思ったのですが、女性は男性に比べて、あまり強調はしたくないですが、生物学的に健康課題と言っていいのか、たとえば生理的なもの、出産、更年期障害、特定疾病を多く持たざるを得ない。その理由によって、職場において、昇進や仕事の継続が危ぶまれることがあってはならないと思います。</p> <p>男女平等というと、すでにそういう点でスタートから不利益な部分を持ちながら、社会的にスタートしましょうと言ってもなかなか難しいので、そういうことを真っ先に解消しておかないとだめなんじゃないかと考えたんです。そこで、「女性特有の健康課題に理解があり、仕事が保障されること」という内容を、これが適切かどうか分かりませんが、追加してはどうかと考えてみました。</p> <p>今の時代、生物学的な性差についてはどんどん改善されているので、あまり強調されるものではないと私は思っています。そういうことはありながら、それでもやはり解決しておかなければならないというところが引っ掛かりました。これは、先日の更</p>

年期障害のセミナーに参加して、何となく自分でも「ああ、そういうことがあるんだ」と思いました。

次に、問3②の選択肢3の「昔から男性は大黒柱として働き」という部分で、なるほど、そういうこともありますかと思いました。私は、はっきり家父長制ということを確認したほうがいいのではないかと感じています。このことが、男女共同参画を進めるうえでネックになっているということ、なんとなくマスコミなどで見聞きするものですから。

最初、3と4は、ある部分では、内容が同質ではないか、重複と言ってもいいかもしれな思いました。でも、そうではなく、3はあえて封建的家父長制度といった文化的な部分のことを意味しているのだろう。4は明らかに生物学的な性差を言っているのだろうというように分けている。そうすると、答える方も、もう少しはっきりさせておいたほうがいいのではないかと思いました。

三つ目に、問3③について、「家事・育児・介護と両立しながら仕事をすることは可能だから」というのは、とても大事な選択肢なのですが、今日の社会的な大きな課題からすると、これを本当に選択できますかということなんです。

これも大事な答えなのですが、そうであるならば、むしろ「制度の改善により」といったような具体的な内容を付けたほうが選択しやすいのではないかと考えたんです。現実的に、これを選択する人は本当にごく一部の一部、ほとんどはこれが今の課題だから男女共同参画は動かないんだと思っている人が多数ではないかと思うんです。そこは何なんだというところを少し説明したほうが、アンケートに取り組む方にもいいのではないかと思いました。

小内会長

ありがとうございました。4ページで他にございますか。

大西委員

問3②の選択肢2の文章について、「安定した生活を送るためには」というのは、要するに男性の賃金が多いからという意味での選択肢だと思いますが、文章のことを言って悪いのですが、「ため」が重複しているのと、男女のどちらかを削ったほうがスッキリして分かりやすいのではないかと思います。もう少し単純にするというか、収入が多ければ豊かな生活を送れるということに繋がっていくので、両方あっても意味は分かるのですが、文章を整理したほうがいいのではないかと思います。

また、全体的に文末について、たとえば問3②の選択肢でも、3は「必要である」ですが、他は「よい」や「から」になっていますし、他にも、7ページの間16の選択肢では、動詞で終わっているものと「こと」で終わっているものがあります。こういったところを整理したほうがいいのではないかと思います。6ページの間12でも、1から6は「させる」や「する」で終わっていますが、7だけ最後に「こと」が付いている。こういった選択肢の設問が他にもたくさんありますので、そのあたりを検討して整理したほうが、答える方も分かりやすいのではないかと思います。

小内会長

選択肢が難しいですね。長くて、理解するのに時間がかかる。また、問2について、2つだけ選ぶというのはなかなか難しいと思います。2つまでということであれば、「自分が最も重要と思うものを2つまで選んでください」というように質問も変わる

	<p>と思います。いくつでもというのであれば分かるのですが、問3の②や③などは1つだけ選ぶのは非常に難しいという印象です。</p> <p>それと、選択肢の説明が長すぎるというか、もう少し簡潔にしたほうが良いと感じました。</p> <p>問3は「男女の役割を固定する考え方が必要だと思いますか」として、選択肢では賛成、反対と括弧書きしています。割と「賛成ですか」と問う調査が多いと感じますが、なぜあえて「必要」にしたのか。「必要」にこだわったんでしょうか。</p>
事務局 (大橋参事)	<p>「必要」、「賛成」どちらでも、分かりやすいほうが良いと考えています。ここは「賛成である」というほうが答えやすいのであれば、そのようにしたいと思います。</p>
小内会長	<p>「賛成」のほうが多いと思います。</p>
久保委員	<p>令和3年度の市民アンケートを見ると、60%近くがこのような考え方をしていない。そう考えると、「必要だと思いますか」というのが妙に引っ掛かったんです。もう時代はそうじゃない。できれば、軽く「どう思いますか」でもいいのではないかと思います。</p>
小内会長	<p>その他、何かございますか。</p>
黒澤委員	<p>LGBTとDVという言葉について、皆分かっているかのように書かれていますが、言葉の説明が必要ではないのかと思いました。</p> <p>また、LGBTについて、最近をよくLGBT「Q」まで入れて報道されることが多いと思いますが、そこについてはどちらが良いのか。</p> <p>もう一点、7ページの間17「あなたは次のような子どもの育て方についてどう思いますか」という設問で、どのように育てるかを問う中に1つだけ「子どもが3歳くらいまでは母親が育てる」という、三歳児神話のことをどう思うかといった考え方への質問が入っていて、これだけ質問の意図が違うというか、違和感を覚えました。</p> <p>この質問は、たとえば問19には「母親が育児をしていないを誤解される」という選択肢がありますが、こちらに選択肢として入れたほうが良いかなと思いました。</p>
小内会長	<p>ありがとうございます。その他、何かございますか。</p> <p>問4や問7②のような自由回答は、なかなか難しいというか、自分なら何と書くかなと考えてみました。かえってそれが面白いということもあるのですが、少し難しい設問だと感じました。</p> <p>問20②の男性が育児休業を取得しなかった理由として、職場に制度がないというのはどうでしょうか。もちろん法律上は制度を設けなければなりません、自分の働いている職場には制度がないということもあるのではないのでしょうか。</p>
藤王委員	<p>8ページの男性の育児・介護休業のところは「未成年のお子さんがある男性にお聞きします」と、かなり限定的ですが、取得したかどうかという質問はそういった限定</p>

	<p>をしてもいいと思いますが、問21「取得することについてどう思いますか」といった質問は、子どもがいる方限定ではなく、これから子どもを持つ方や、すでに子育てを終えた方など、幅広い方の意見を聴いたほうがいいのではないかと思います。</p>
事務局 (大橋参事)	<p>問21に関しては、子どもを持つ男性に限っていませんので、「皆さんにお聞きします」といった言葉を付け加えて、全員を対象としたいと思います。</p>
小内会長	<p>問22の4の休業期間の延長というのは、短すぎて取りにくいのか、意味が分からなかったのですが。</p>
事務局 (大橋参事)	<p>もう少し長い期間取得できるようにという意味ではあります。</p>
小内会長	<p>男性の場合、分けて取れると取得しやすいということをテレビで見たことがあります。例えば、2か月休むと仕事との関係で大変だけでも、それを何回かに分けて取れるとありがたいという意見もあって、このあたりをもう少し工夫していただければと思います。</p>
浦嶋副会長	<p>全体的に選択肢が多すぎではないか。問22などは12もある。削れるものはないのか。読んでいて面倒に感じてしまう。</p>
小内会長	<p>問22は短いからまだいいですが、問21のように長いと放棄したくなりますね。</p>
浦嶋副会長	<p>アンケートがどのような人に当たるか分からないのであれば、これを理解するだけでも大変だという人もいる。なんとか減らせないものでしょうか。字が小さくて目が痛くなります。</p>
事務局 (大橋参事)	<p>これは案ですので、実際のアンケートでは、A4版の見開き8ページ程度に分散して、カットなども入れながら作る予定です。</p> <p>皆さんおっしゃるとおり、選択肢も長いですし、難しくて分かりにくい言葉もたくさんあると思います。設問についてはあまり精査していない段階であり、他の自治体のアンケートを参考に、だいたいこういった設問を入れたらどうかといった段階のものをお出ししているのですが、皆さんからいただいたご意見を参考にし、短くできるところは短くして、分かりやすい言葉には変えていきたいと考えています。</p>
大西委員	<p>先ほど、設問を少し減らす可能性もあると言っていました、今の時点で必要ないと考えているものがあれば教えていただきたいです。</p>
事務局 (大橋参事)	<p>今後検討したいと考えています。</p>

大西委員	<p>結局こういったアンケートは、色々なものを出すときと関連させながら、どういった意識を持っているのかを知りたいとか、今後それを活かして政策などの方面に向けていくとか、そうやって関連させながら、ぜひ皆さんの意向を聞きたいといった部分があると思うんです。精査するのであれば、その辺を考えて精査する方向で、やっぱり、できればよりたくさん回答が欲しいですね。そういうことを考えたときに、答える人のことも考えながら、もし可能であれば、そういう方向で精査してもらってもいいのではないかと思います。</p>
小内会長	<p>むしろ固まっていないから、色々と意見を反映できるということですので、こういう設問が必要ではないかといった意見などがあれば、出していただければと思います。これを持ち帰って検討していただくわけですが、その後はどのような流れになるでしょうか。</p>
事務局 (大橋参事)	<p>本日、皆さんからいただいたご意見を持ち帰りまして、ご指摘のあった点を踏まえて修正を行います。そのうえで、アンケート調査票を作成し、5月末までに対象者へ送付する予定ですので、次の審議会で再度見ていただくといったことは考えておりません。</p>
小内会長	<p>この場で意見を述べて、あとはお任せするということですね。</p>
事務局 (大橋参事)	<p>小内会長のご意見は伺いたいと考えております。</p>
事務局 (金子部長)	<p>今回これだけご意見をいただいたので、会長一任というよりも、皆さんにお送りして、さらにご意見があればご連絡いただくという形を取ったほうがいいのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>
小内会長	<p>郵送になりますか。</p>
事務局 (大橋参事)	<p>そうですね。調査票にしたものを皆さんにお送りしたいと思います。</p>
小内会長	<p>アンケート調査は一発勝負なので、できるだけ良いものにしていただきたいので、分かりにくいところや誤解がありそうなところなど、大きくは変えられないとは思いますが、回答する側になるかもしれない人たちに見ていただいたほうがいい部分もあると思います。時期は4月頃でしょうか。</p>
事務局 (大橋参事)	<p>そのあたりになると思います。</p>
事務局	<p>可能なかぎり変えたいと思います。皆さんのご意見を伺っていると、長すぎるし多</p>

(金子部長)	すぎるし、これでは誰も回答してくれないというようなご指摘だと受け止めたので、できるかぎり変えて皆さんに提示したいと思います。
浦嶋副会長	以前にもアンケートは行ったのでしょうか。
事務局 (大橋参事)	男女共同参画の計画に反映する市民アンケートは今回が初めてになりますが、毎年政策推進課で行っている市民アンケートの中には、男女共同参画に関する設問もあり、そこに男女の平等感やDVに関する設問がいくつか入っています。
五十嵐委員	質問ですが、年齢は特に限定しないのでしょうか。
事務局 (大橋参事)	年齢は18歳以上としています。
五十嵐委員	上限はないということですね。
事務局 (大橋参事)	はい。
五十嵐委員	職場や家庭の設問が多いので、年齢を限定することは難しいのでしょうか。別の市民アンケートの話なのですが、90代のお年寄りに届いて、認知症なので回答できずに捨ててしまったということがありました。そういった方々にも同じように割合で届くとしたら、当然それなりの回収率になってしまうと思うので、たとえば20～50代を多めにするといったことはできないのでしょうか。
小内会長	無作為抽出ということですので、江別市民の縮図になるような形としているので、他の年齢層を特に増やすといったことは調査の設計的に無理なのですが、普通は上限を設けますよね。たとえば70代までとか、上限を設けたほうが良いと思います。
事務局 (大橋参事)	検討させていただきます。
小内会長	それに加えて、若い人が回答しやすいように、インターネットでも回答できるといった工夫は考えていらっしゃるのでしょうか。
事務局 (大橋参事)	現段階の設問の長さ、多さでは難しいのですが、選択肢を簡潔にすればWeb回答もしやすくなりますので、そういったところは工夫していきたいと思います。
浦嶋副会長	検討してくださるということですので、それを期待しましょう。
小内会長	他に何かございますか。

<p>早瀬委員</p>	<p>現在、人権擁護委員ではDVのしおりなどを作る準備に入っているのですが、8ページからのDVに関する部分で「恋人」という言葉が使われているのですが、恋人というと「男女」と限定されてしまうおそれがあり、「交際相手」にするとLGBTの方々にも気持ちよく答えてもらえるのではないかと検討もしていますので、お耳に入れておいたほうが良いと思いました。</p> <p>また、これは市民向けのアンケートということですが、企業に対して、こういうことは企業として対応できているかとか、そういうものは今までに行っていますか。</p>
<p>事務局 (大橋参事)</p>	<p>企業向けアンケートは、現在の計画の中間見直しの際、商工会議所に登録している事業者を対象に行っています。</p>
<p>早瀬委員</p>	<p>そうすると、育休やハラスメントに関して、企業は認識しているということですね。</p>
<p>事務局 (大橋参事)</p>	<p>認識はしていると思います。</p>
<p>小内会長</p>	<p>他に何かございますか。</p> <p>(なし)</p>
<p>小内会長</p>	<p>それでは、以上で本日の議事についての審議を終わります。</p> <p>つづいて、次第の3「その他」ですが、各委員から何かございますか。</p> <p>(なし)</p>
<p>事務局 (田中主査)</p>	<p>今後の予定ですが、今年度の審議会は今回が最後となります。次回は、5月下旬に令和5年度の第1回審議会を予定しています。時期が近くなりましたら、日程調整のご連絡を差し上げますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>また、アンケートへのご意見についても、会議後に思い付いたことがあれば、お寄せいただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>小内会長</p>	<p>ただいま、事務局より説明がありましたが、ご質問などはございませんか。</p> <p>(なし)</p>
<p>小内会長</p>	<p>それでは、第2回男女共同参画審議会を閉会いたします。本日は大変お疲れ様でした。</p>